

当科のリハビリ治療システムについて

1：膝・股関節治療の基本方針

初診時に「関節面からの痛み」の原因になる「骨粗鬆症が原因で起こる脆弱性骨折」や「大腿骨頭壊死」を除外診断するために原則として全員にMRI検査を行います。

「関節外の軟部組織（主に靭帯）からの痛み」の場合は、PSTRエクササイズによる手術回避を目指します。

★リハビリメニューは、患者さん個々の歩行バランスの分析に応じて決定しますので一人ひとりメニューは、異なります。

★リハビリ科で患者さんの日常生活指導を行います。

2：術前リハビリ・術後リハビリ

術前リハビリは、全員に行いますが、術後リハビリについては当院で手術を受けられた患者さんのみに行います。他院で手術を受けられる場合、当院で術後リハビリを行うと責任問題の混乱を招きますので避けるべきと思います。（人工股関節置換術の術後脱臼などは、術後半年以内の脱臼は手術に原因があることが多く再手術を要することがあります。術後半年以降の脱臼は、患者さんの理解不足や不注意が原因のことが多いです。）

